

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室
実施報告書

広島県 近畿大学附属広島中学校 福山校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

■期 日 : 2019年9月3日 (火)

■ク ラ ス : 2年A組 (38名) 、2年B組 (38名)

■オリンピアン : 石橋 千彰 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/ロンドン大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介後、今日は自身の経験を皆に伝え、頑張りたいけどやり方が分からないと悩んでいる人が、1歩を踏み出すきっかけや前向きに過ごせるようにしたいと伝える。
- ・オリンピックバリュー「エクセレンス＝チャレンジすること」、「フレンドシップ＝仲間と協力すること」、「エクセレンス＝仲間を思いやること」の3つを説明し、この時間は楽しみながら仲間とコミュニケーションをとるよう意識してほしいと話し、準備体操に移る。ストレッチ、ボール取りゲームを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳びを実施(60秒×3回)2班毎3チームで実施。引っかかっても続きから数えるとして、制限時間内に跳んだ回数を競う。
- ・チームごとに課題や改善策を話し合うため、作戦タイムを設ける。
- ・最後にクラス全員での全員跳びを実施。

4. まとめ



- ・楽しくコミュニケーションを取って取り組むことができたか生徒に確認し、チャレンジして仲間にアドバイスしたり、思いやりを持つことは、スポーツだけでなく他のことにも活かすことができると話し、座学の時間でこれらのオリンピックバリューを深く学んでいきたいと伝え、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・ロンドン大会の映像を見せながら自己紹介。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、努力する、チャレンジ」、「フレンドシップ＝友情、仲間、協力」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：①夢や目標を実現するために今頑張っていることやこれから頑張りたいことを考えてみよう。
 ②クラスメイトと協力できることについて考えてみよう。
 ③感謝したい人への感謝の言葉について考えてみよう。

発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）

発問①：「部活と勉強の両立」「早寝早起き」「テスト勉強を頑張る」「自分磨き」等

発問②：「体育祭等の学校行事を協力する」「掃除を助け合って取り組む」等

発問③：「学校の先生に、授業を分かりやすく教えてくれてありがとう」「両親に、遊んでくれたりご飯を作ってくれてありがとう」等

4. まとめ



- ・成功の反対は失敗ではなく挑戦を放棄することである。人間は考え続けることによって成長する。考えていることを書き出すことによって自分の課題に気づくことができ、挑戦し、成功することにつながる。グループワークで話し合ったことを何度も考え、器の大きい人になってほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日 : 2019年9月4日 (水)

■ク ラ ス : 2年D2組 (39名)、2年D1組 (39名)

■オリンピアン : 小林 祐梨子 先生 (陸上競技) 【出場オリンピック/北京大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介した後、今日はオリンピックについて考えたいと授業の目的を確認。運動の時間は全力で取り組むこと、協力し合うこと、意見を出し合うこと、の3つを運動の時間の約束事とし、自分1人で頑張るのではなく、仲間と協力して取り組もうと伝え、準備体操に移る。
- ・準備体操として、じゃんけん勝ち抜け、ストレッチ、早く走るための練習を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・6班対抗でリレー、バリエーションリレー(3回)を実施。
- ・2人3脚用のベルトをバトンとし、第1走ペアは2人で背中にボールを挟み、第2走ペアは2人でボールをドリブルしながら走る、第3走ペアは2人3脚することをルールとした。(D1組では7人班に合わせ、第1走者として、1人で走ってコーンを回る役割を追加。)

4. まとめ



- ・走ることが苦手でもボールを蹴るのは得意な人がいるように、それぞれが持っている能力を把握し、各班がそれに基づき作戦を立てると、結果が大きく変化した。このように、結果に行き着くまでのその過程も大切である。運動の時間の約束事を守れたかを生徒に問いかけ、次の座学の時間では、オリンピックについて考えを深めていきたいと伝え、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・映像を見せながら自己紹介。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、素晴らしい、積み重ね」、「フレンドシップ＝友情、相手を大切に思う、仲間、ライバル」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：夢や目標を実現するために、今何ができるか考えてみよう。
 発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）
 エクセレンス：「なんでもチャレンジする」「全力で取り組む」「諦めない」等
 フレンドシップ：「一生助け合える仲間を作る」「仲間とライバルを作る」「協力する」等
 リスペクト：「挨拶」「相手を称える」「他人を尊重する」「感謝の気持ちを忘れない」等

4. まとめ



- ・夢を叶えるためには「できる」という気持ちを持って挑戦することが絶対必要である。皆も夢を叶えるために、オリンピックバリューを心に留めて、仲間と支え合い、周りの人に感謝し、常に挑戦する心を持って取り組んでほしいと伝え、授業終了。。

■ 集合写真
2年A組



2年B組



■ 集合写真
2年D1組



2年D2組



■ 記念品贈呈

2年A組



2年B組



2年D1組



2年D2組



■ 修了書贈呈

